

# FUJIMANIAレポ

富士発信計画進行中

『富士町のことを発信することでまちに人を呼び込みたい!』の想いの実現に向け、佐賀市・富士公民館・アバンセの三者共同企画で「富士発信計画進行中」の講座を開催しています

第4回講座開催（R8.2.28）

## 「わいわいとざっくばらんに本音トーク

### ～情報共有から発信へ～

講師：竹中 謙輔 さん（株式会社西日本新聞社佐賀総局 記者）



西日本新聞

1877年創刊、1942年より“西日本新聞”を発売。福岡を中心とする主に北部九州で発行されている。九州地域に密着した情報を発信。アプリではグルメやイベント情報など、利用者に役立つ情報を広く発信している。

## 第1部 ゲストトーク ▶▶

県外（特に福岡）では、どんな情報に魅力を感じるのか？どんな発信をしたら興味を持ってもらえるのか？などなど、一歩外に踏み出す情報発信についてお話をうかがいました。

記者として気になるのは  
こんな情報です



キーワードは『体験』や『ストーリー性』（+ニュース性）

### 体験

コロナ禍を経てアウトドアが注目されている。福岡の人は、福岡ではできない、**自然体験**や**グルメ**の情報を求めている。  
（例）北山湖のワカサギ釣り（アウトドア体験+食）  
佐賀空港のひとりカラオケ（体験）

### ストーリー性

取材依頼の広報文（PR文）に**イベントの背景ストーリー**が記載されていると、たくさんの取材依頼の中でも興味を持つ。実際に記事にするときも、内容のボリュームが増える。  
（例）中原観世音祭十八夜（100年継続の理由）  
パセリの取組み（廃棄率90%）

### ニュース性

新聞・テレビといったメディアは報道機関であり、**ニュース性**にも着目する。**社会問題**や**社会情勢**、**解決するためのストーリー**があると報道に深みが出る。  
（例）パセリの取組み（社会問題：フードロス）  
佐賀空港のひとりカラオケ（中国での流行×インバウンド）



取材に行きたい  
ネタはこんなもの

### 恒例のもの

毎年恒例の行事やイベントは、その時期になると取材に行く。季節と結び付けて毎年恒例のものがあると◎記者に「あのイベントの時期か」って思わせられるようになれば強い!

住民の方からしたら“あたりまえ”のことでも外から見たら魅力的なものがあるはず。**POINT!** 見る角度を変えて面白いを探してみて!



CHECK

### 実績と信頼

誰でも情報発信ができる時代、検索があたりまえの時代、どんな人が発信しているのかがカギになってくる。面白い情報なのか、信じていい情報なのか情報を発信した人を検索し、確認することもあたりまえになっている。日々の発信の積み重ねが、信頼になっていくので大事◎

お題① これまでの講座に参加して気づいたこと・感じたこと / お題② 情報発信について、わたしたちができること



情報発信は『好き』の熱量がないと続かないよね！

過疎地域だからこそ人と人がつながりそこから各々シェアしていくことが大事じゃない？



／おもしろいことしよるね！！



「何もない」を良しとして、今ある宝を探す。ここからまちづくりはスタートするんじゃないかな

泥臭い  
**田舎魂**  
リスペクト



ここで想いを話したことがきっかけでコラボすることになりました！

富士町って聞いたことあるけど、何してるか知らない。でもいろいろやってるよね。これって結局は情報発信不足だね。

第4回  
参加者の声  
(抜粋)



- ・富士町をつなげていきたい。そしてみんなの力で発信していきたい。
- ・この対談をきっかけにお互いに協力できる形につながればいいなあと感じた。
- ・このような機会は続けて盛り上げて、富士町を底上げしてほしい。

### 公民館職員の想い

富士町は、居住環境が抜群であるにも関わらず、その魅力が町外に伝わっていないことなどが起因して、人口減少や来訪者減少による地域経済の低迷を招いていると感じていました。

そこで、まずは情報発信力を高めて、来訪者の増加を図る必要があると考え、情報発信の担い手になっていただきたいと考えられる方と勉強会を始めました。

最初はピンと来ていなかった方も回を重ねるうちに、情報を発信する必要性や、そのために自分が何をすべきかということに意識が向いてきたように感じています。

情報発信は様々な手法が考えられますが、この一年間取り組んできたことは手法ではなく、情報発信をすることが重要だという「意識」を皆さんに持ってもらうことです。

令和8年度からは、ここで学んできたことを本格的に進めていきたいと思えます。これからも富士町の魅力発信に力を合わせていきましょう！



富士公民館長 池田 剛

今回の講座、「富士が大好きだ！」という想いが参加した皆さんに呼び起されたのではないのでしょうか。私も富士町に通勤して2年、富士町の景色、空気に魅了された富士マニアです。

情報発信がテーマの4回でしたが、回を重ねるたびに、富士町で積極的に活動する情熱人の存在も見えてきました。活動をメディアに発信して、外から人を富士町に呼び込み、まちの活性化につなげようという気持ちの共有もできました。

これまで情報発信についてぼやけていた大事なこともハッキリしてきたのではないかと思います。それは富士町に住む皆さんが顔の見える関係をつくり、つながりあって互いの情報を持ち寄るプラットフォーム（場）が必要だと感じ始めたことです。

講座の終わりは新たな始まりでした。これからは視界良好で進めそうです。

富士公民館 鶴 ちふみ



講座にご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。  
これからも富士町の魅力発信をスタッフ一同応援しています！